

12 月 28 日：VN 指数は再び上昇 (VN-Index +0.62%)

- VN 指数はビングループ関連銘柄の上昇により、前日終値より上昇して取引を開始した。
- VHM (+4.30%) は前場から注文が多く入り、強い上昇とともに指数を支えた。その他の不動産銘柄もその恩恵を受け、キャッシュフローが未だ本調子でないにもかかわらず、市場を徐々に上昇させた。
- 後場には特に銀行セクターを中心とした買いが広がり、指数の上昇幅は拡大した。
- しかしながら、指数は 1,130pt を手前に上げ止まりとなった。
- 買い方が優勢となり、312 銘柄が上昇、163 銘柄が下落、113 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 15.5 兆ドンと、VHM の売買を除けば前日比 19.7%の減少となった。

VN30 指数は力強く上昇 (VN-30 +1.13%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、25 銘柄が上昇、4 銘柄が下落、1 銘柄が横ばいとなり、幅広い銘柄が上昇。
- 前述したように、VHM (+4.30%) や VIC (+1.95%) といったビングループ関連銘柄が好調に推移し、その他にも SSB (+4.42%)、VIB (+2.34%)、VPB (+1.62%) といった銀行銘柄が相場を支えた。
- 一方、下落銘柄は比較的軽微だった。

セクター・個別株の動き

- DCM (-1.39%) は 2023 年の純利益目標を 34%下方修正したことから、投資家たちに嫌気され下落した。
- LDG (-0.99%) は、前会長の逮捕に伴う株価急落で 1300 万株の ESOP 発行計画を中止。同社株は下落した。

- 外国人投資家は 2 日連続となる買い越しで、その額は 4420 億ドンとなった。個別銘柄では VHC (+0.27%) と HCM (+1.80%) が最も買われた。一方、売り越しが目立ったのは GMD (+0.28%)、BID (-0.70%) などであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。